

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月24日（金）

2 確認箇所

2号機燃料取り出し用構台（遠隔操作室）（図1）

3 確認項目

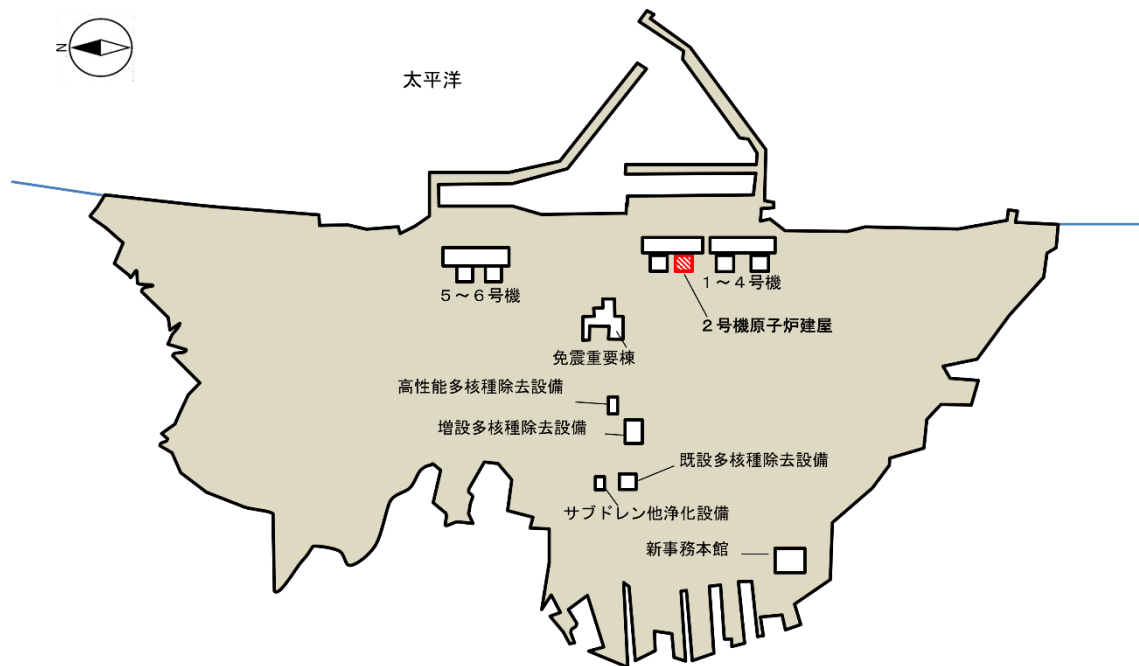
2号機燃料取り出し作業の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、2号機使用済燃料プールに貯蔵されている615体の燃料について、令和10年度までの取り出し完了を目指し、令和8年6月2日から燃料の取り出し作業が開始されており、7月17日までに21体の燃料の取り出しが完了している。

今回、新たに7体の燃料取り出し作業が行われていることからその作業状況について確認した。（前回確認：令和8年7月23日）

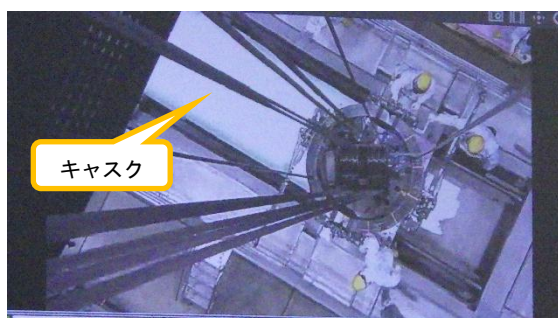
- ・前日の確認では、使用済燃料プールから燃料を格納したキャスクを燃料取り出し用構台（以下「構台」という。）へ移動する作業等を遠隔操作室から確認した。
- ・今回は、構台から輸送用車両へのキャスクの移動作業を遠隔操作室から確認した。
- ・キャスクは、燃料取扱設備のクレーンを用いて輸送用車両へ吊り降ろされた後、横に倒され輸送用車両に固定された。（写真1）
- ・キャスクからクレーンのフックが取り外された後、燃料取扱設備の収納作業として、フックの巻き上げ、クレーンの旋回等が行われ収納状態となった。（写真2）
- ・構台の作業員との連絡にはトランシーバーを用いており、各工程の作業内容の確認や、クレーンの吊り上げ高さの読み上げなどにより作業の補助が行われていた。
- ・いずれの作業についても、安全に留意して作業が進められていたことを確認した。
- ・遠隔操作室モニタの一部には構台の空間線量率や空気中の放射能濃度が表示されており、確認時に指示値の上昇は見られなかった。
- ・燃料取り出し用構台から共用プールへのキャスクの移送は後日実施される。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



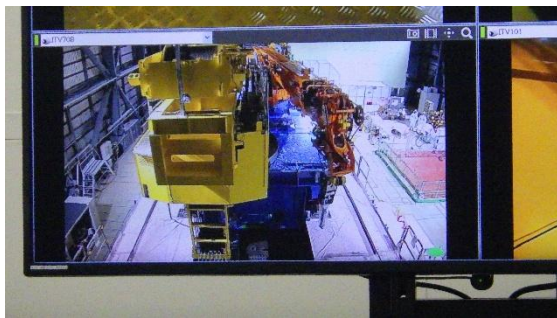
(写真 1－1) 輸送用車両へのキャスク吊り下ろし作業の状況① (キャスクの横倒し作業中)



(写真 1－2) 輸送用車両へのキャスク吊り下ろし作業の状況② (キャスクの横倒し作業中)



(写真 1－3) 輸送用車両へのキャスク吊り下ろし作業の状況③ (キャスクの横倒し作業後)



(写真 2) 収納状態となった燃料取扱設備

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。